



洗面化粧台 R1シリーズ 奥行560タイプ

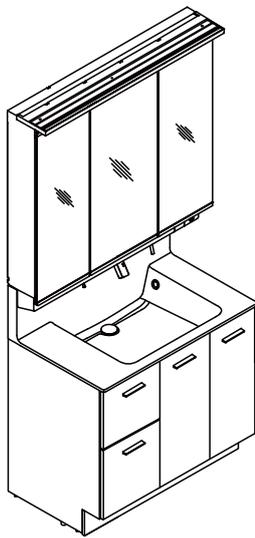
取扱説明書

このたびは当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございました。

■ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

■取扱説明書にはご使用方法などを掲載しています。お手入れの内容は別冊「お手入れガイド」に掲載しておりますので、あわせてご覧ください。

■ミラーキャビネットについて。
本書ではR1シリーズミラーに関する記載をしております。



洗面ボウルの取扱い上の注意動画はこちら→

取扱説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。不適切な使用により事故が生じた場合、当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

※この取扱説明書とお手入れガイド、機器類の取扱説明書は必要なときにすぐ取り出せるところへ保管してください。

※転居される場合、次に入居される方にこの取扱説明書とお手入れガイドをお渡しください。

取付業者さまへ
取扱説明書とお手入れガイドは必ずお客さまにお渡しください。

各部のなまえ	1
「くもり止めコート」について	3
安全上のご注意	4
使用時のご注意	10
許容重量	11

ご使用方法	12
●照明	12
●コンセント	12
●収納トレイ	13
●水栓金具	14
●排水栓の開閉	15
●引出しの取外し・取付け	16

お掃除方法	17
長くお使いいただくために	18
●LED照明	18
●鏡扉の調節	18
●水栓パネルのお手入れ	18
●水の量の調節	19
●扉の調節	20
●引出しの調節	22
冬期凍結の恐れがある場合	23
●水栓金具の水抜き	23

故障かな?と思ったら	25
アフターサービスについて	27
●修理を依頼される前に	27
●保証書をご覧ください	27
●修理を依頼されるとき	27
●品番を調べる	28
●部品の保有期間について	29

仕様	30
オプション品・交換部品	32
廃棄について	33
保証書	34

はじめに

ご使用方法

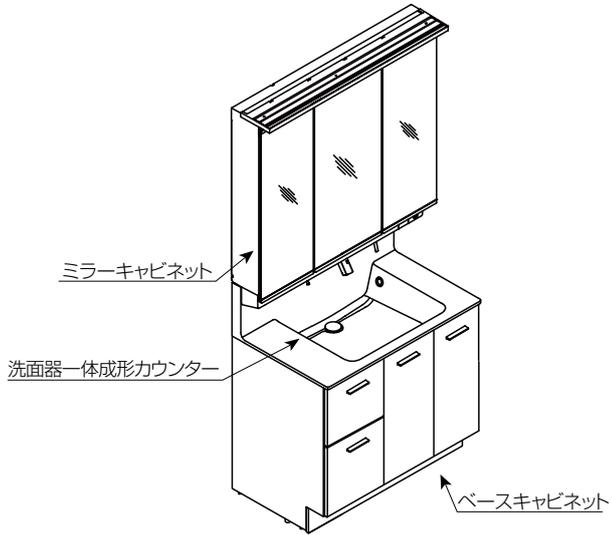
長くお使いいただくために

アフターサービス

各部のなまえ

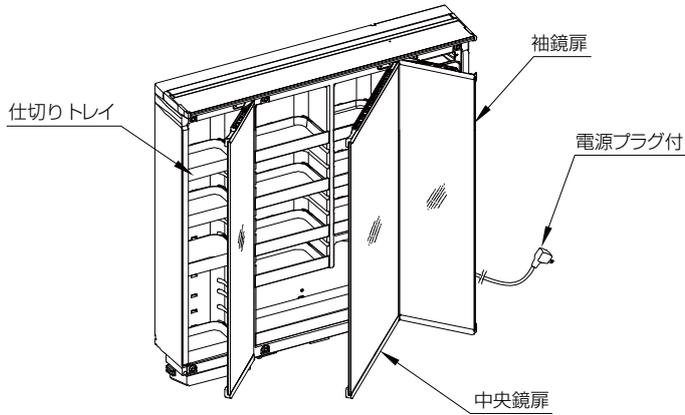
- ・商品の仕様はお客さまに断わりなく変更することがあります。
- ・図は商品の例示であり、実際の商品と異なる場合があります。

キャビネットの名称



ミラーキャビネットの種類

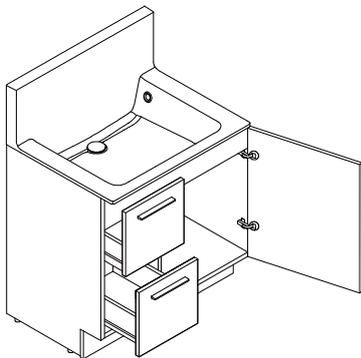
●スリムLED照明タイプ



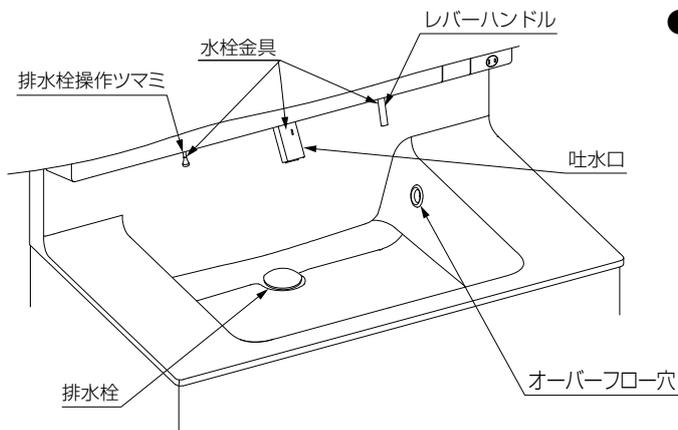
※3面鏡は中央鏡がくもり止めコートになります。

化粧台の種類

●引出タイプ



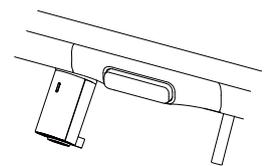
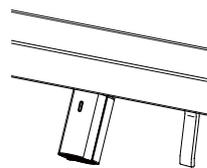
洗面ボウルの器具名称



水栓金具の種類

●タッチレス水栓

●プッシュ水栓



「くもり止めコート」について

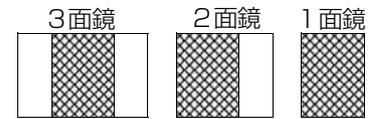


「くもり止めコート」のしくみ

くもり止めコートお手入れ方法動画がこちら→

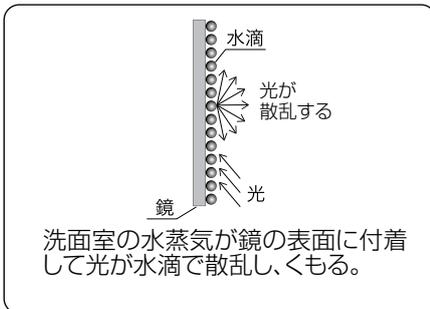
鏡表面に『吸水性』と『親水性』の2つの性質を持つ柔らかい樹脂膜がコーティングしてあり、鏡がくもりにくくなっています。

●くもり止めコートの位置

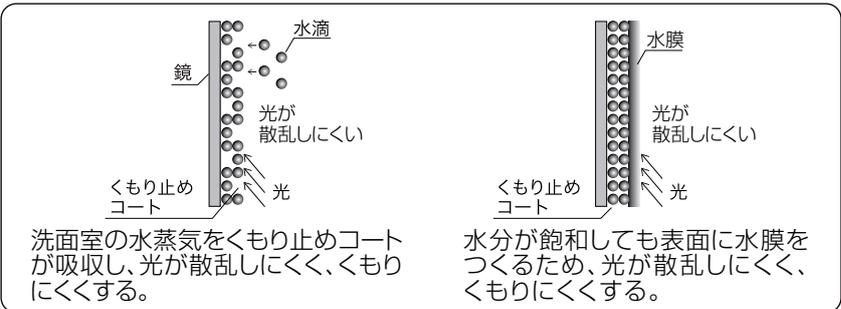


■部分が「くもり止めコート鏡」です。

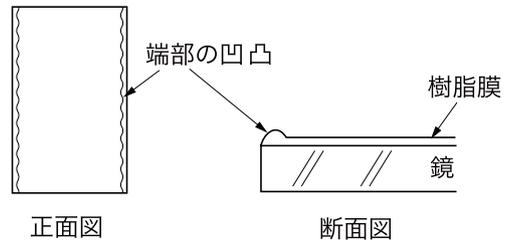
従来の鏡



くもり止めコート付の鏡



- 浴室の蒸気などが急激に付着すると鏡像がゆがんで見えたり、くもりが発生したりすることがあります。
- 「くもり止めコート」は鏡表面に柔らかい樹脂膜をコーティングしているため、端部に凹凸があります。
- 他の鏡と色合いや見え方が若干異なる場合があります。(異常ではありません。)



使用時のご注意

- 表面を強くこすらない。
※キズがつくとそこからコーティングがはがれる恐れがあります。

鏡表面が変色・変形・キズがついた場合

補修できませんので、有料修理による部品交換(1・2面鏡の一部商品では本体交換)になります。

- 鏡表面にテープ、シールなど粘着性のあるものやジェル状の飾り、吸盤などを貼らない。
※表面が変色(着色)し、取れなくなります。
- 毛染液・化粧品・液体うがい薬・歯垢染色剤などがつかないように注意する。
※表面が変色(着色)し、取れなくなります。変色(着色)した場合は、下記のお手入れを行ってください。
- 鏡に貼ってあるラベルははがさない。
※跡残りの原因になります。

お手入れ方法

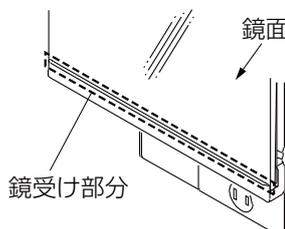
■毎日のお手入れ

鏡表面を柔らかいきれいな布で水拭きした後、乾いた柔らかいきれいな布で水分を取る。

鏡の受け部分に付いた水分を綿棒などで拭き取る。
※受け部分から水分が浸入すると、鏡の腐食(シケ)を引き起こす恐れがあります。

お願い

研磨剤入りの洗剤や固い布・ナイロンタワシなど使用しない。
※表面にキズがつく恐れがあります。



<柔らかい布>

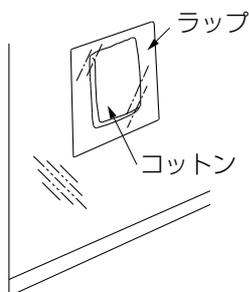
・綿素材：ハンドタオル、フェイスタオル、着古したシャツ(肌着) など

■週1回のお手入れ

柔らかいきれいな布に約5倍に薄めた無色透明の食器用中性洗剤を含ませて絞り、鏡表面の汚れを軽く拭き取る。

食器用中性洗剤に含まれる界面活性剤がくもり止め効果をより長持ちさせます。

- ・変色（着色）した場合…約5倍に薄めた無色透明の食器用中性洗剤を含ませたコットンを貼ります。洗剤が垂れたりコットンが乾燥したりしないように上からラップをして下さい。1～2時間貼り付けた後、水を含ませた柔らかいきれいな布で軽く拭くことで薄くすることができます。



<柔らかい布>

・綿素材（ハンドタオル、フェイスタオル、着古したシャツ(肌着) など)

- ・歯磨き粉が付いた場合…水を含ませた柔らかいきれいな布で軽く拭いてください。
- ・鏡受け部分の隙間に入り込んだゴミは、鏡にキズがつかないように薄いカード・紙などを使ってこまめにお掃除してください。

安全上の注意（必ずお守りください）

※ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。

いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

※組み込まれている機器や付属品については、それぞれの取扱説明書および製品本体表示をご覧のうえ、ご使用ください。

誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示マークで区分し、説明しています。

	警告	取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。
	注意	取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

	「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）
	「分解してはいけません！」
	「指示した場所に触れてはいけません！」
	「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）
	「電源プラグをコンセントから抜いてください！」



警告

全体

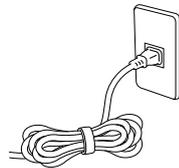


- 改造や修理技術者以外による分解・修理を行わない。
※感電や漏水、発熱・発火による火災の恐れがあります。



- スイッチやコンセント、電源プラグなどに水をかけたりぬれた手で触ったりしない。
※漏電や感電の恐れがあります。

- 電源コードは束ねたまま使用しない。
※発熱や発火による火災の恐れがあります。



- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っばったり、ねじったり、束ねたり、重い物を載せたり、挟み込んだりしない。
※電源コードが破損し、発火、ショート、感電の原因になります。

- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントへの差し込みがゆるいときは使用しない。
※発火、ショート、感電の原因になります。

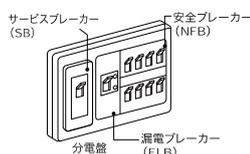
- 雷が発生しているときは、電源プラグに触らない。
※感電の原因になります。



- ミラーキャビネットの周辺で異臭や異常音がする場合は、電気機器のスイッチ及び分電盤の安全ブレーカーを切り、速やかに修理を依頼する。
※異常のまま使用を続けると火災や漏電の恐れがあります。



- 洗面室の電気機器とつながった分電盤のブレーカーが作動した場合は、使用を中止し、速やかに修理を依頼する。
※洗面室の電気機器などに異常がある恐れがあります。作動したブレーカーを入れ直してご使用を続けた場合、火災や漏電などの恐れがあります。

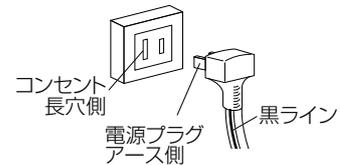


全体



- 電源は必ず適正配線された交流100Vコンセントを単独で使用する。
※発熱や発火による火災の恐れがあります。

- 電源プラグは、アース側の刃(コードの黒ライン側)をコンセントの長穴に差し込む。
※逆向き接続は照明交換時に感電の恐れがあります。

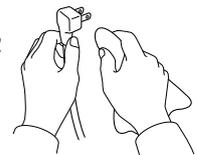


- 電源プラグをコンセントに差し込むときは、根元まで十分差し込む。
※発火、ショート、感電の原因になります。



- 電源プラグを抜くときは必ずプラグ本体を持つ。
※コード部分を引っ張るとプラグやコードが破損し、火災や感電の恐れがあります。

- 電源プラグは定期的にコンセントから抜いて乾いた布で拭き取る。
※電源プラグにたまったホコリにより火災の恐れがあります。



- コンセントを使用するときは、表示電力(合計1300W)を守る。
※表示電力を超えると発熱や発火により火災になる恐れがあります。



- ドライヤーなどの電気器具の使用後は、コンセントから電源プラグを抜いて収納する。
※スイッチが不意に入り、発熱や発火による火災の恐れがあります。



警告

水栓金具



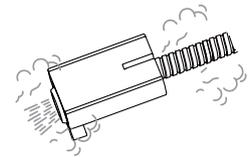
- **小さいお子さまだけで使用しない。**
※ヤケドやケガをする恐れがあります。
- **水道水および飲用可能な井戸水以外は使用しない。**
※商品の内部腐食により、漏水、発火、ショート、感電の原因になります。
※飲用可能な井戸水とは、水道法に定められた飲料水の水質基準に適合する水をいいます。
- **水栓金具のセンサー部に水をつけたり、水をかけたりしない。**
※発火、ショート、感電、故障の原因になります。
- **他所の水栓金具と同時に使用しない。**
※圧力変動により、温度が急上昇しヤケドをする恐れがあります。
- **給湯機器の温度設定は85℃以上で使用しない。**
※水栓が破損し、ヤケドや家財などをめらす拡大損害発生恐れがあります。
※なお、誤作動などによるヤケド防止のため、60℃給湯をおすすめします。

水栓金具



- **高温の湯の使用時は、シャワーホースが高温になっているため、直接肌に触れないよう注意する。**
※ヤケドをする恐れがあります。

高温



- **高温の湯の使用後は、水栓金具内に高温の湯が残らないようしばらく水を流す。**
※次の使用時に水栓内に滞留した高温の湯が出て、ヤケドをする恐れがあります。
- **定期的に配管の漏水やガタツキがないか確認する。**
※部品破損によりヤケドやケガをしたり、漏水で家財などをめらす拡大損害発生恐れがあります。
- **使用前に必ず適温であることを確かめる。**
- **お湯の使用時は、必ずレバーハンドルを水側から開栓して、その後ゆっくり湯側へ回して温度の調節をする。**
※湯側から先に開栓すると高温の湯が吐出し、ヤケドをする恐れがあります。

⚠ 注意

全体



- 製品を傷つける洗剤や有機溶剤などは絶対に使用しない。

※破損・漏水の原因になります。

・有機溶剤（シンナー・ラッカーなど）・除光液
・薬品（アルコール、塩酸など）・漂白剤
・酸性／アルカリ性／塩素系の洗剤

- 排水口にシンナーなどの有機溶剤や薬品を流さない。

※排水部材が破損し、漏水する恐れがあります。



- 洗面ボウル、ランドリーカウンター、引出し、扉、取っ手などに乗ったり、ぶら下がったりしない。

※部材が破損・落下し、ケガをする恐れがあります。



- お湯の使用時、使用直後はキャビネット内の給湯管に触らない。

※ヤケドをする恐れがあります。



- 商品のガタツキや破損、故障が起きた場合は、すぐに使用を中止し修理を依頼する。

※使用を続けると、より大きな損害やケガの恐れがあります。（P.35ページ）

※電気機器が組み込まれた化粧台では、使用中の際に必ずスイッチを切り電源プラグを抜いてください。

- 洗剤や洗剤などはそれぞれの「使用上の注意」に従う。

※誤った使用により商品が変形・破損し、ケガをする恐れがあります。

- 扉や引出しの角などに腕をぶつけないように注意する。

※ケガをする恐れがあります。

全体



- 化粧品・除光液・うがい薬などが付着したら、すぐに拭き取る。

※除光液、クレンジング剤などの化粧品、整髪料、毛染剤、脱色剤、うがい薬、芳香剤、漂白剤、洗剤などは、製品に悪影響を与えるものもあります。



※ヒビ割れや変形が発生して部材が破損・落下し、ケガをする恐れがあります。

※くもり止めコートは鏡ではなくくもり止め効果が低下する恐れがあります。

- キャビネット内に塩素系、酸性の薬品・洗剤類を保管する場合は、キャップを確実に閉め、保管方法に注意する。

※腐食性ガスが発生すると、丁番・レールのサビや動作不良の原因になります。

※キャビネットや容器に付着した場合は、すぐに拭き取ってください。

ミラーキャビネット



- 照明器具に水をかけない。

※ランプが割れ、ケガをする恐れがあります。

- 点灯中や消灯直後は、ランプや照明カバーに触らない。

※ヤケドをする恐れがあります。

- 照明器具にぶら下がったり、力を加えたりしない。

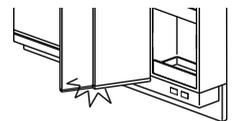
※落下・破損してケガをする恐れがあります。

- LED照明部を長時間直視しない。

※目を傷める恐れがあります。

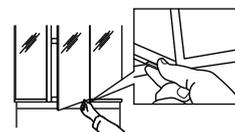
- 隣合う鏡扉は同時に開けない。

※鏡扉同士が接触して破損し、ケガをする恐れがあります。



- 鏡扉の隙間に指を入れたり、丁番の可動部を触ったりしない。

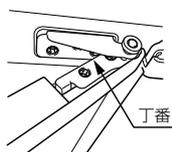
※開閉時に指を挟みケガをする恐れがあります。小さなお子さまの使用時には特に注意してください。



注意

ミラーキャビネット

- 棚や収納トレイに物を載せすぎない。
※ケガをする恐れがあります。
※許容重量は10cm×10cm(100cm²)あたり0.5kgまでです。
※許容重量は底面に均等に物を載せた場合の値です。
- 鏡に手をついたり、たたいたりしない。
※鏡が割れてケガをする恐れがあります。
- 丁番に油をささない。
※潤滑油が本体の樹脂に付着すると劣化やヒビ割れが生じて、鏡扉が落下しケガをする恐れがあります。

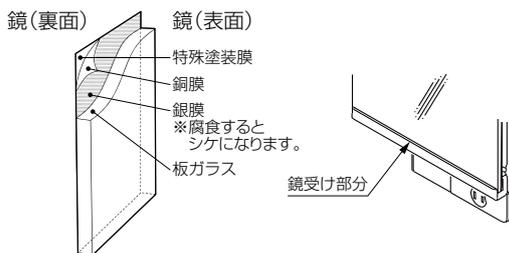


- 鏡に直接水や洗剤をかけない。

※鏡受け部分に水や洗剤が長時間溜まることで、鏡の腐食(シケ)にいたる恐れがあります。
※周囲の隙間やスイッチ・コンセントに水が入り込み、漏水や漏電の恐れがあります。



<鏡の構造>

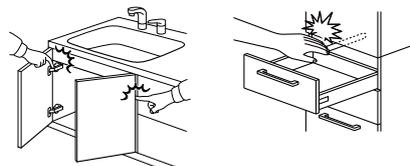


- アイロン使用時の電源はミラーキャビネットではなく、必ず建築側のコンセントから引く。
※発熱による火災の原因になります。

- 扉は手でゆっくり閉め切る。
※勢いをつけて惰性の力で閉めると扉が跳ね返ってぶつかったり、収納物が落下してケガをする恐れがあります。

キャビネット

- 扉を大きく開けすぎない。
※扉が外れてケガをする恐れがあります。
- 扉の隙間に指を入れたり、レールや丁番の可動部に触ったりしない。
※開閉時に指を挟みケガをする恐れがあります。
小さなお子さまの使用時は特に注意してください。



- 上段・下段を同時に開けない。
※上下の引出しで手を挟み、ケガをする恐れがあります。



- ランドリーキャビネットのタオル掛、ハンガーにぶらさがったり、掛けたタオルなどを強く引っ張ったりしない。
※バーが破損・変形して落下し、けがをする恐れがあります。



- 扉が傾いたり、ガタついたりする場合は、扉の調節を行う。
※扉が外れ、落下によりケガをする恐れがあります。(P.20~21ページ)

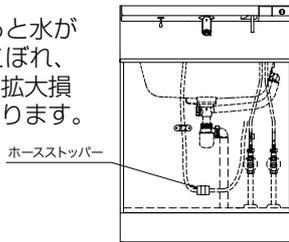
⚠ 注意

洗面ボウル

- 洗面ボウルに熱湯を注がない。
※急激な温度変化により洗面ボウルが割れて漏水し、家財などをぬらす拡大損害発生の恐れがあります。常温の水をためてから注いでください。
- 洗面ボウルに重いものや固いものを落とさない。
※洗面ボウルが割れてケガをする恐れがあります。また、漏水により家財などをぬらす拡大損害発生の恐れがあります。

水栓金具

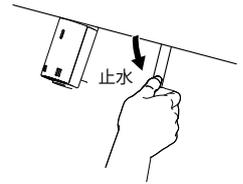
- 水栓金具を手すり代わりにしたり、引っ張ったり無理な力をかけない。
※水栓金具が破損・脱落し、漏水やケガの恐れがあります。
- 水栓金具のホースストッパーは位置をずらさない。
※ホースが出すぎると水が洗面ボウルからこぼれ、家財などをぬらす拡大損害発生の恐れがあります。
- ハンドシャワー引出し口に直接水をかけない。
※水がキャビネット内に侵入し、家財などをぬらす拡大損害発生の恐れがあります。
- メッキ面のハガレはそのまま放置しない。
※メッキ面のハガレやキズでケガをする恐れがあります。
※すぐに使用を中止し修理を依頼してください。(P.27ページ)



- 体格や身体状況により、使用時に化粧台と頭などが接近するため、頭などをぶつけないように注意する。
※ケガをする恐れがあります。

水栓金具

- 凍結が予想される場合は、必ず水抜きを実施する。
※実施しない場合、配管が凍結破損して漏水し、家財などをぬらす拡大損害発生の恐れがあります。
※凍結による破損は、保証期間内でも有料修理となりますのでご注意ください。(P.23~24ページ)
- 水抜き栓は水抜き以外の目的で開けない。
※湯水が噴き出し、ヤケドや家財などをぬらす拡大損害発生の恐れがあります。
- 断水時は水栓金具のレバーハンドルを必ず「止水」の位置にする。
※「吐水」の位置で断水が終了すると、水があふれ家財などをぬらす拡大損害の恐れがあります。
- レバーハンドルを急閉止させると、配管から漏水を起こす恐れがあるため、ゆっくり操作する。
※漏水で家財などをぬらす拡大損害発生の恐れがあります。
- 給水圧力は給湯圧力より必ず高くする。
※正常な調節ができなくなり、ヤケドをする恐れがあります。
- 直射日光が当たる場所では使用しない。
※誤作動や故障などによる、予想しない事故の原因になります。
- 旅行などで長期間使用しない場合は、レバーハンドルを閉じて電源プラグをコンセントから抜く。
※誤作動や故障などによる、予想しない事故の原因になります。



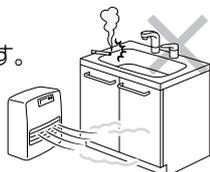
使用時のご注意

故障をおこさないためにお守りください

全体

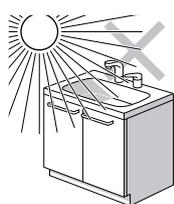
- ヒーターなどの暖房器具やタバコ・マッチなどの火気を近づけない。

※変形やコゲ跡が付く恐れがあります。



- 直射日光やスポット照明・殺菌灯などを当てない。

※変色や変形の恐れがあります。
直射日光はカーテンなどで必ずさえぎってください。



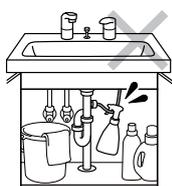
- ヘアピンやカミソリの刃などの金属類を放置しない。

※サビが取れなくなる恐れがあります。



- 排水器具のリリースワイヤーに物をかけたり、引っ張ったりしない。また、収納物が接触しないように注意する。

※リリースワイヤーが切断・破損して、排水栓を開閉できなくなる恐れがあります。



- 吸盤付タオル掛、吸盤付石けん置などを使用しない。

※吸盤を貼った周辺が変色する恐れがあります。



ミラーキャビネット

- ヘアードライヤーなどの熱風を当てない。

※変形・変色する恐れがあります。

- ミラーキャビネットの上に物を載せない。

※破損や変形する可能性があります。

- 鏡に冷水や熱湯をかけない。

※急激な温度変化により、鏡が破損する恐れがあります。

- ラジオやテレビなどの電波を受信する機器はミラーキャビネットの近くで使用しない。

※雑音やちらつきの原因になります。

キャビネット

- キャビネットに水などをこぼさない。ぬれたらすぐに拭き取る。

※表面だけでなく、水がたまりやすい上下端部も拭き取ってください。

※木質でできていますので、水を含んで膨れたり、表面材が剥がれたりする原因になります。



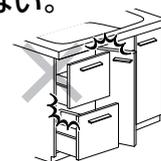
- キャビネット内の配管や配線に収納物などで無理な力を加えない。

※漏水、発熱・発火の恐れがあります。



- 隣合う引出しや扉は同時に開けない。

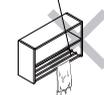
※扉同士が接触して破損する恐れがあります。



- 収納物は十分に水気を落として収納する。

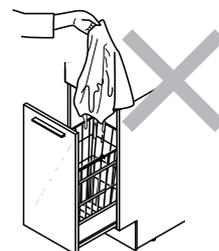
※周囲のキャビネットが水を含んで膨れたり、表面材が剥がれたりする原因になります。

タオル掛



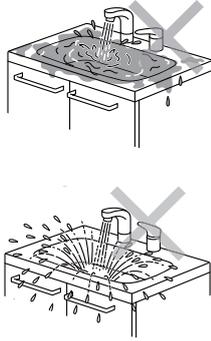
- ランドリー網カゴにぬれた洗濯物などを入れない。

※カゴがさびたり、木部が水を含んで膨れたりする原因になります。



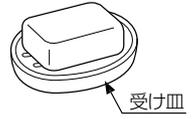
水栓金具

- 水ためは「整流」で行う。
※シャワーで行うと、水面が波立ち水があふれる恐れがあります。
- 水ハネが多い場合は水の量を調節する。
※(P19ページ)



洗面ボウル

- 洗面ボウルに直接石けんを置かない。
必ず受け皿を使用する。
- ハンドソープ容器や受け皿の下は石けんカスがたまりやすいので、こまめに拭き取る。
※石けんカスが付いたまま長時間放置すると、洗面ボウルが変色したり光沢がなくなったりする恐れがあります。
- カウンター、洗面ボウルのデッキ面にぬれたものを長時間放置しない。
※変色したり、膨れたりする恐れがあります。

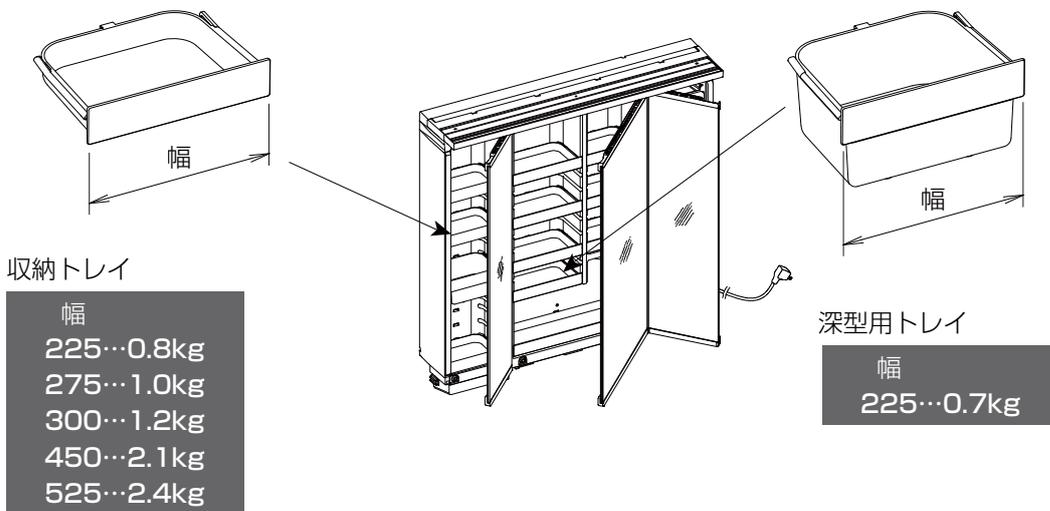


許容重量

※許容重量は、均等に物を載せた場合の値です。

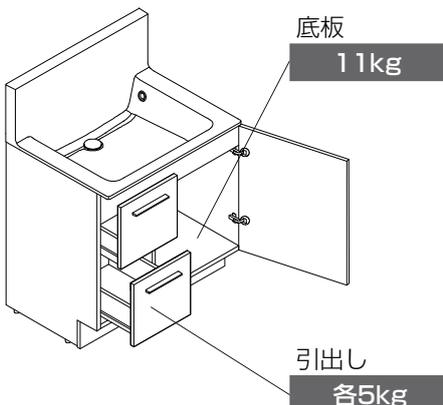
下記の許容重量を超えないように使用してください
過剰に収納すると変形・破損し、ケガの原因になります。

ミラーキャビネット(3面鏡)



ベースキャビネット

●引出タイプ



ご使用方法

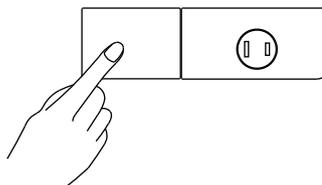
照明

つける

スイッチを一度押す。

消す

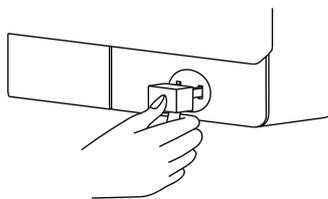
スイッチをもう一度押す。



LEDにはバラツキがあるため、光色、明るさが異なる場合があります。

コンセント

電源プラグを差し込み穴にまっすぐ差し込む。



警告



- コンセントを使用するときは、表示電力(合計1300W)を守る。
※表示電力を超えると発熱や発火により火災になる恐れがあります。
- ドライヤーなどの電気器具の使用後は、コンセントから電源プラグを抜いて収納する。
※スイッチが不意に入り、発熱や発火による火災の恐れがあります。

収納トレイ(3面鏡)

収納トレイはミラータイプやミラー間口により異なります。
該当する収納トレイの取外し・取付け方法をご覧ください。

⚠ 注意



収納トレイは確実に奥まで差し込む。

※収納トレイや収納物が落下して破損やケガの恐れがあります。
※取付後は、しっかりはまっていることを確認してください。

お願い

●**本体最下段には必ず収納トレイを取り付ける。**

※取り付けないと収納物が落下しやすくなります。

●**収納トレイにつかまったり、強く引っ張ったりしない。**

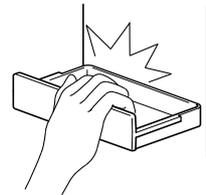
※破損や変形の原因になります。

●**収納トレイに物を載せすぎない。許容重量を守って使用する。** (P.11ページ)

※変形・破損する恐れがあります。

※許容重量は底面に均等に物を載せた場合の値です。

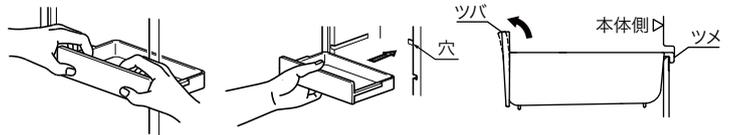
許容重量 10cm×10cm(100cm²)あたり 0.5kg以下



■収納トレイ(小)・(中)

取外し

収納トレイを両手で持ち、ツバを手前に
広げて本体内部からツメを取り外す。



取付け

トレイ後面が本体側の穴に入り込むまで、
しっかり差し込む。

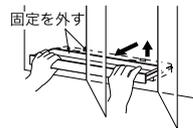
【収納トレイを着脱する場合】

鏡扉の開き角度を90度にするとう着脱しやすくなります。

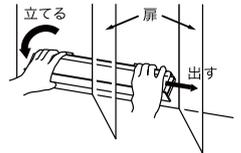
■収納トレイ(大) ※間口750の場合のみ

取外し

① 収納トレイを持ち上げてから
手前に引き、固定の位置から
取り外す。

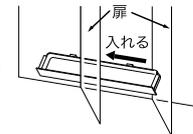


② 収納トレイを前に倒して
立て、扉を避けながら
取り出す。

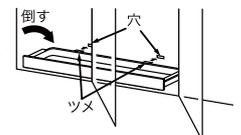


取付け

① 収納トレイを立てた状態で扉を
避けながら本体内に入れる。



② 収納トレイを水平に倒し、
背面のツメを本体側の穴
にしっかり差し込む。

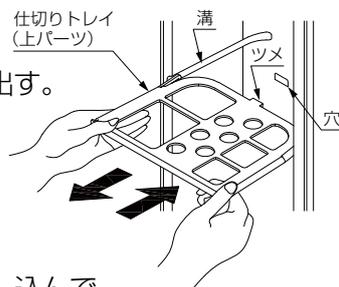


仕切りトレイ

■仕切りトレイ(上パーツ)

取外し

ツメ部分を浮かせ
ながら、手前に引き出す。

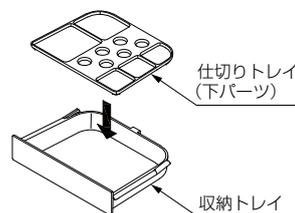


取付け

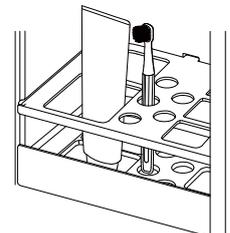
ミラー本体の溝に差し込んで
スライドさせ、ツメが本体側の穴に
入り込むまでしっかり押し込む。

■仕切りトレイ(下パーツ)

凹みのある面を上にして、
収納トレイ内部に置く。



〈使用例〉

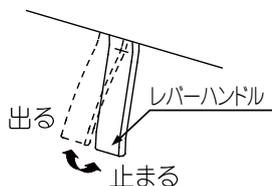


水栓金具

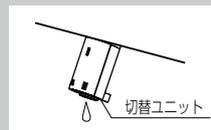
水栓金具の詳細・即湯システムの取扱いについては、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

■吐水方法

レバーハンドルを上げる。
※上げ具合で吐出量を調節できます。
※レバーハンドルは左右どの位置でも下げると止水します。



【水止め後の水垂れ(少量)】
水を止めた後に少しのあいだ水が垂れるのは、切替ユニットの内部に溜まった少量の水が排出されるため、故障ではありません。



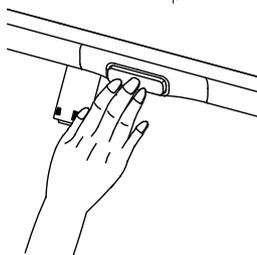
タッチレス水栓

【LF-NH397SY型の場合】
吐水口の前に手を差し出す。
※センサーが感知し、吐水します。
※手を引きセンサーが反応（ルミナスサイン点灯）してから、1~2秒後に止水します。



プッシュ水栓

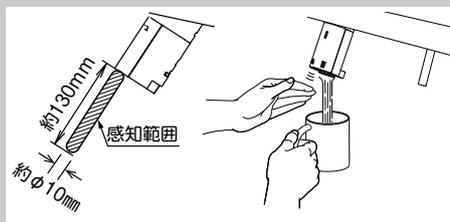
【LF-BB397SY型】
プッシュボタンを押し込んで離す。
※もう一度押し込むとボタンが解放され止水します。



【センサーの感知範囲】

吐水口手前のセンサーから下方向に約130mm

※感知範囲に手をかざしてご使用ください。
※センサーは赤外線を透過してしまうガラスなどでできたコップや花瓶は感知できません。またステンレス製およびメッキを施したコップなどは感知しないことがあります。

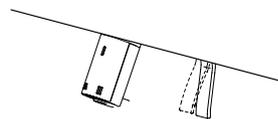


⚠ 注意



●レバーハンドルはゆっくり操作する。

※急に開閉すると急激な圧力変動により配管が破損し、漏水で家財などをぬらす拡大損害発生の恐れがあります。



●使用時に、棚や扉のかど、水栓の吐水口やハンドルで頭を打たないように注意する。

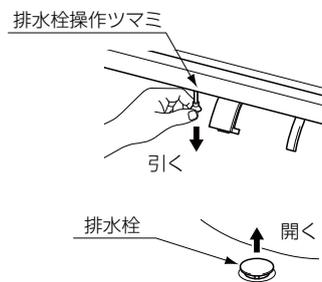
※ケガをする恐れがあります。



排水栓の開閉

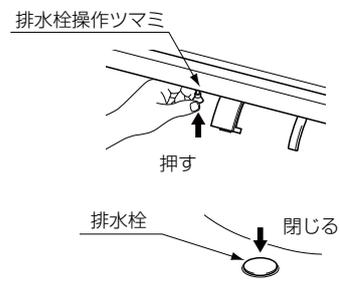
開く

排水栓操作つまみを引く。



閉じる

排水栓操作つまみを押す。



【砂などがかみ排水栓が上がらない場合】
排水栓に布粘着テープを貼り、持ち上げてください。

引出しの取外し・取付け

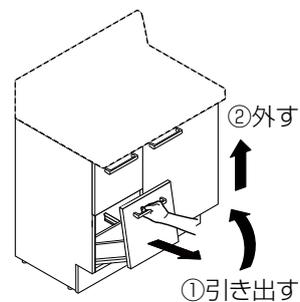
引出タイプ

取外し

- ①引出しを最後まで引き出す。
- ②引出しを持ち上げて外す。

取付け

「取外し」と逆の手順で取り付ける。



お掃除方法

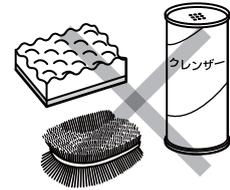


日々のお手入れ方法動画はこちらから→

お願い

●以下の道具、洗剤は使用しない。

<ul style="list-style-type: none">・研磨力の強いもの（粉末クレンザー、磨き粉）・硬いスポンジ（金属タワシ、ナイロンタワシ）・毛先の硬いブラシ・古くなった布、ペーパータオル・メラミンスポンジ・固い布、汚れの付いた布	表面が傷つく
<ul style="list-style-type: none">・有機溶剤（シンナー、ラッカーなど）・除光液・薬品（アルコール、塩酸など）・洗剤（主成分にオレンジオイルが含まれるもの）	表面がヒビ割れ・変形する
<ul style="list-style-type: none">・酸性／アルカリ性／塩素系の洗剤 ※排水パイプ洗浄剤を除く	<ul style="list-style-type: none">・表面が変色やシミになる・金属部にサビが発生する



●お手入れには柔らかいきれいな布を使用する。

・柔らかい布：綿素材（ハンドタオル、フェイスタオル、着古したシャツ（肌着）など）

詳しいお手入れ方法はお手入れガイドをご覧ください。

長くお使いいただくために

LED照明

LED照明タイプは、お客さまでの交換はできません。照明器具一式での交換になります。
交換・修理が必要な場合はLIXIL修理受付センターに依頼してください。(P.27ページ)

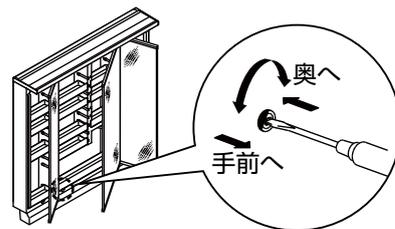
鏡扉の調節

扉がきちんと閉まらない場合

マグネットキャッチを左に回し、手前に出す。

扉が出すぎている場合

マグネットキャッチを右に回し、奥に入れる。
※上下方向の傾きも調節してください。



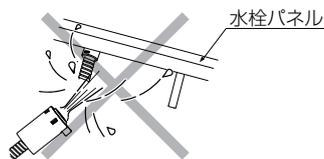
水栓パネルのお手入れ

- 水栓パネルの汚れは乾いた柔らかい布で拭き取ってください。
- ひどい汚れは水拭きで落した後、から拭きしてください。

お願い

水栓パネルを掃除する際、直接水をかけない。

※水がキャビネット内に侵入し、キャビネット内部や収納物をぬらす場合があります。



水の量の調節

水の量の調節は止水栓を操作して行ってください。

お願い

メンテナンスなどで止水栓を閉めるときは何回転させたかを記録する。

※止水栓を元の位置に戻すときに必要です。

※元の位置に戻さないと設定が変わるため、湯温の変化や水があふれる恐れがあります。

- ①水栓金具のレバーハンドルを湯側いっぱいまで回して吐出し、湯側止水栓（向かって左の調節部）をマイナスドライバーで回して適量に調節する。

止水栓の操作

水の量を多くする …… 調節部を左に回す

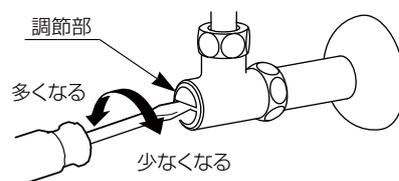
水の量を少なくする …… 調節部を右に回す

閉める …… 調節部を右に止まるまで回す

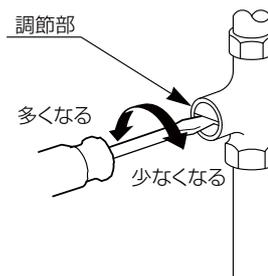
- ②水栓金具のレバーハンドルを水側いっぱいまで回して吐出し、湯側の調節量と同じになるよう、水側止水栓（向かって右の調節部）をマイナスドライバーで回して調節する。

- ③水栓金具のレバーハンドルを中央（湯と水の間）の位置で吐出し、水ハネを確認する。

●壁給水の場合



●床給水の場合



※上記はドライバー式止水栓の例です。

レバーハンドルを全開にしたときに、水側または湯側の量が一定量を超えた場合は、止水栓で調節する。

※一定量（水の量の上限）は水栓金具によって異なるため、取扱説明書をご確認のうえ、調節してください。

扉の調節

扉の調節方法動画はこちら→



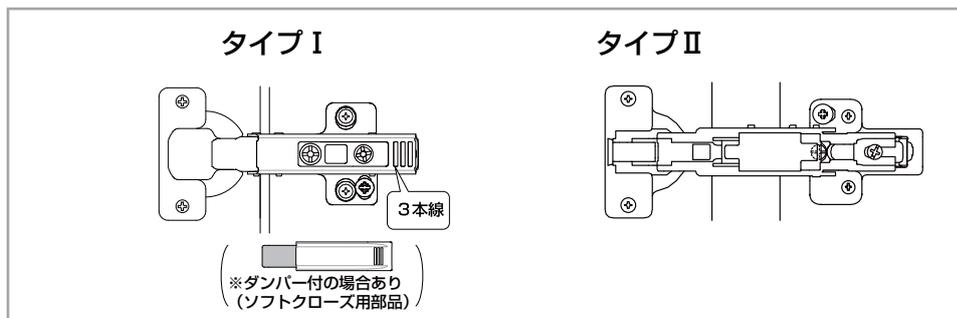
- 扉の調節は、蝶番のねじで行います。扉を取り外す必要はありません。
- 両開きの場合、片方の扉だけで調節できないときは、左右の扉を交互に調節してください。
- 調節は、必ず手回しドライバーを使用してください。

■準備するもの



手回しプラスドライバー

蝶番種類を確認し、調節してください。



⚠ 注意



- 調節ねじ以外のねじを緩めたり、外したりしない。
- 調節後は、緩めたねじがしっかり締め付けられていることを確認する。
※扉が落下してケガをする恐れがあります。

タイプ I : ダンパー付の場合

下記方法にてダンパーを取り外し、蝶番の調節を行います。

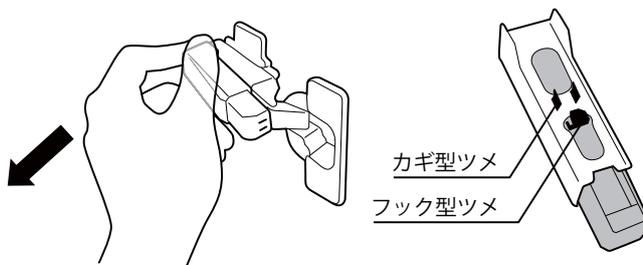
※調節後は、同じ位置に取り付け直してください。

※保護用手袋を着用してください。

■ダンパーの取付け・取外し

取り外す

扉側へスライドさせるように引く。

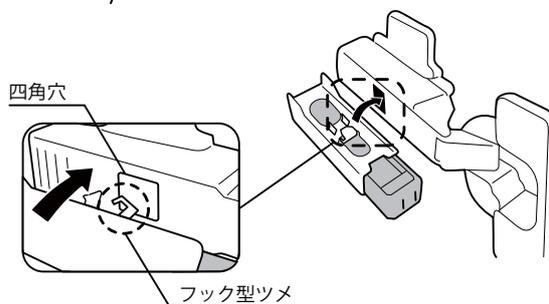


【ダンパー名称説明】

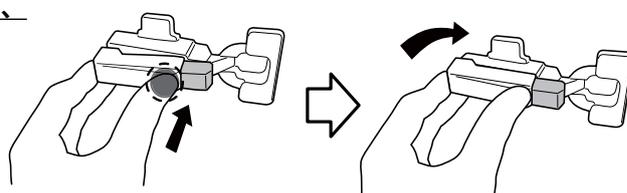
取り付ける

- ①フック型ツメを蝶番の四角穴手前に当てダンパーを蝶番にまっすぐ合わせてのせる。

※カギ型ツメを優先に差し込むと入りません。



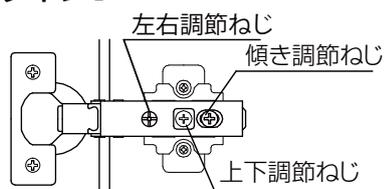
- ②ダンパーがズレないように●の部分を押さえつつ、奥側から「カチッ」と音がするまで押し込む。



←取付動画はこちらから

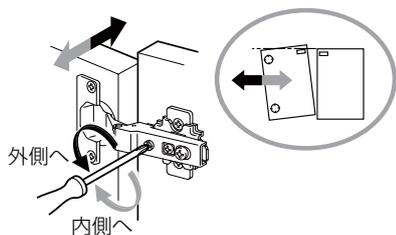
長くお使いいただくために

タイプ I



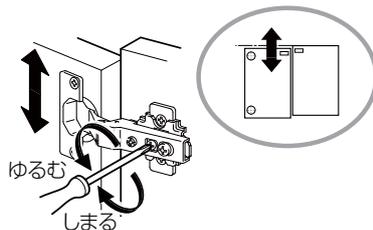
左右の調節

(内側4mm、外側1mm)
左右調節ねじを回し、
扉を調節する。



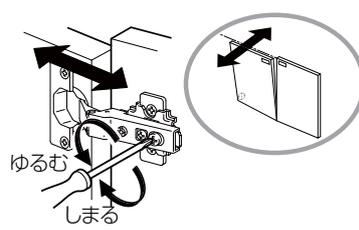
上下の調節

(±1.5mm)
① 上下調節ねじを軽く緩め、
扉を動かして調節する。
② 上下調節ねじを締め直す。

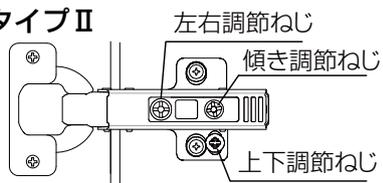


前後の傾き調節

(前2mm、後1mm)
① 傾き調節ねじを軽く緩め、
扉を動かして調節する。
② 傾き調節ねじを締め直す。

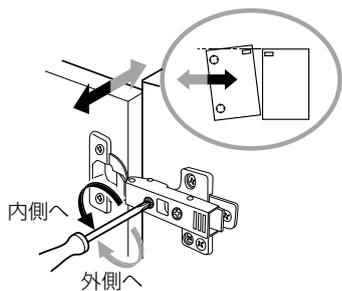


タイプ II



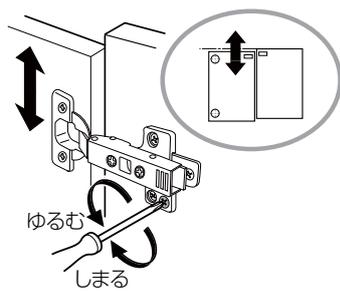
左右の調節

(±2mm)
左右調節ねじを回し、
扉を調節する。



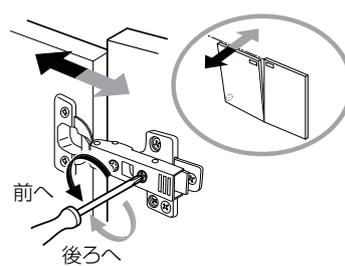
上下の調節

(±2mm)
① 上下調節ねじを軽く緩め、
扉を動かして調節する。
② 上下調節ねじを締め直す。



前後の傾き調節

(前2mm、後1mm)
傾き調節ねじを回し、
扉を調節する。



引出しの調節

引出し前板の調節方法動画はこちら→



- 引出しを調節する際は、引出し内の収納物をすべて取り出してから行ってください。
- 調節は、必ず手回しドライバーを使用してください。

ベースキャビネット(引出タイプ)

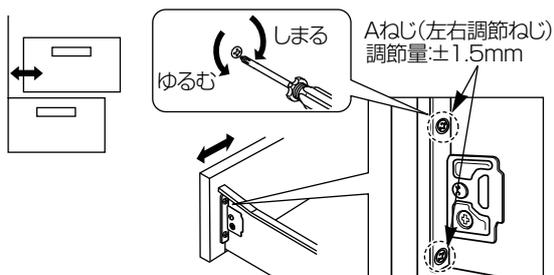
1.引出しの取付け

19ページを参照してください。

2.前板の調節

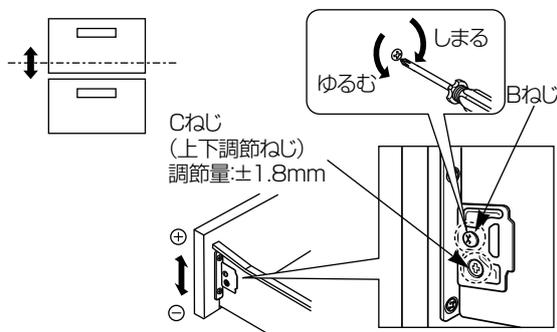
左右の調節

- ①Aねじを4カ所すべて緩める。
- ②引出前板を左右に動かして調節する。
- ③①で緩めたAねじを固く締め付ける。



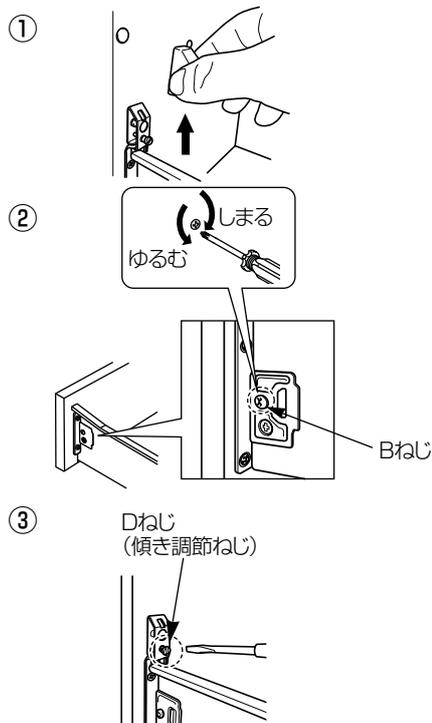
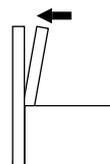
上下の調節

- ①Bねじを緩める。(左へ回す)
- ②Cねじを回して調節する。
上に動かす場合：ねじを右に回す
下に動かす場合：ねじを左に回す
- ③①で緩めたBねじを固く締め付ける。



前板の傾きの調節

- ①カバーを上引き抜いて外す。
- ②Bねじを緩める。(左へ回す)
- ③Dねじを回して調節する。
手前に倒す場合：ねじを右に回す
後ろに倒す場合：ねじを左に回す
- ④②で緩めたBねじを固く締め付ける。
- ⑤①で外したカバーをはめ込む。

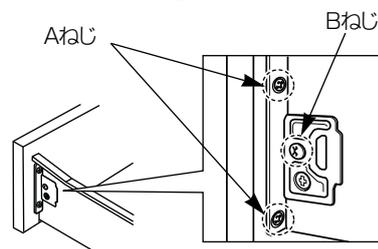


⚠ 注意



調節後は、必ずAねじ、Bねじが固く締め付けられていることを確認する。

※緩んでいると、引出し前板が外れて落下し、ケガをする恐れがあります。



長くお使いいただくために

冬期凍結の恐れがある場合

水栓金具の水抜き

⚠ 注意



凍結が予想される場合は、次の対策を実施する。

- 水栓金具が一般地仕様の場合…水栓金具から少量の水を出したままにする。
- 水栓金具が寒冷地仕様の場合…建築側配管の水抜き操作後に、水栓金具のハンドルを全開にして水抜き操作を行う。

※実施しない場合、配管が凍結破損して漏水し、家財などをめらす拡大損害発生の恐れがあります。
※凍結による破損は、保証期間内でも有料修理となりますのでご注意ください。

凍結予防のお願い

凍結が予想される場合は、水栓金具周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。
なお、氷点下になる場合は次の対策をしてください。

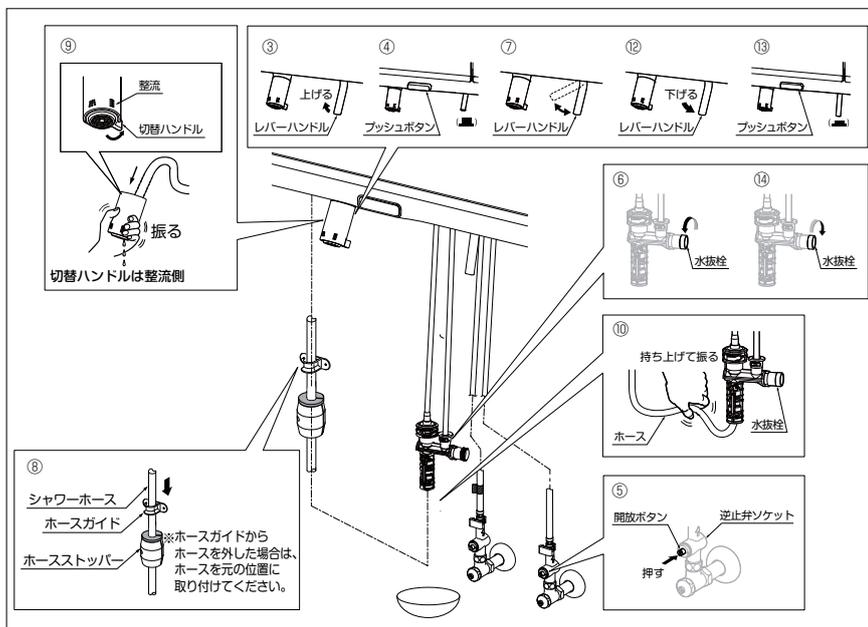
一般地用をご使用の場合

- 水栓金具から少量の水を流し放しにする。
- 配管などに保温材を巻く。

寒冷地用をご使用の場合

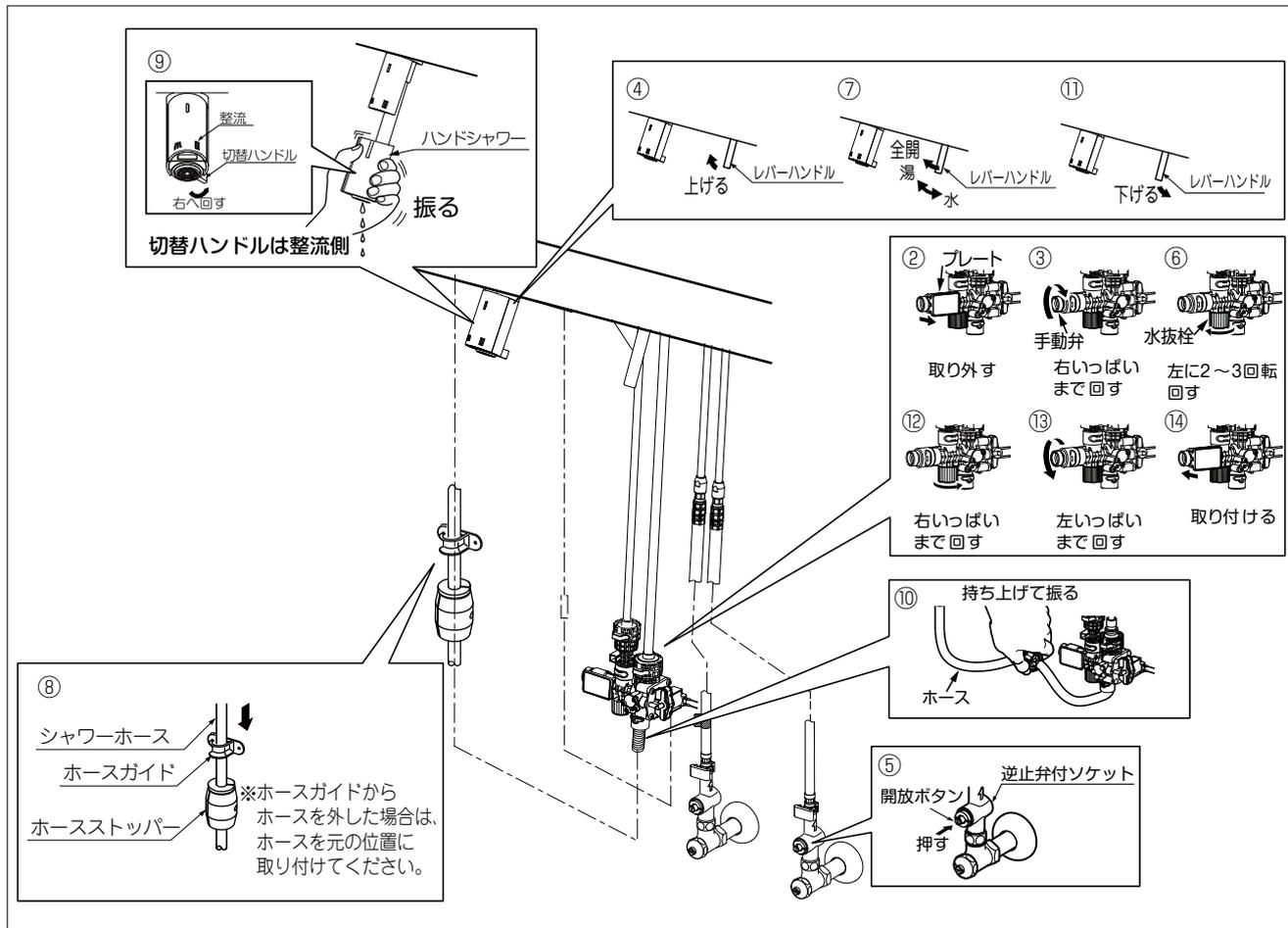
●プッシュ水栓〈LF-BB397SY型の場合〉

- ①配管の水抜き栓を操作する。
- ②キャビネット内の定流量弁ソケットの下にボウルなど水を受けられるものを置く。
- ③レバーハンドルを上げる。
- ④プッシュボタンを押して吐水状態にする。
- ⑤キャビネット内の止水栓の上にある逆止弁ソケットの開放ボタンを止まるまで押す（湯水両方）。
- ⑥定流量弁ソケットの水抜き栓を、矢印の方向にまわして取り外す※水抜き栓から水が出ます。
- ⑦レバーハンドルを上げたまま、数回水側から湯側までまわす。
- ⑧ホースガイドがある場合は、ホースガイドからホースを外す。
- ⑨ハンドシャワーの切替ハンドルを整流にし、ハンドシャワーを振って水をよく切る。
- ⑩ホースを持ち上げて振る。
- ⑪定流量弁ソケットを軽く叩きながら内部の水を抜く。
- ⑫水抜き栓から水が出なくなったらレバーハンドルを下げる。
- ⑬プッシュボタンを押して止水状態にする。
- ⑭水抜き栓を矢印の方向へまわして閉じる。



●タッチレス水栓〈LF-NH397SY型の場合〉

- ①配管の水抜栓を操作する。
- ②プレートを取り外す。
- ③手動弁を開ける。（右いっぱいまで回す。）
- ④レバーハンドルを上げる。
- ⑤逆止弁ソケットの開放ボタン（2個）を押す。
- ⑥電磁弁部の水抜栓を開ける。
※洗面器などで排出される水を受けてください。
- ⑦レバーハンドルを全開状態で数回水側から湯側まで回す。
- ⑧ホースガイドがある場合は、ホースガイドからホースを外す。
- ⑨切替ハンドルを整流にし、ハンドルシャワーを振って水をよく切る。
- ⑩ホースを振ってホース内に残った水を抜く。
- ⑪水栓金具の水が抜けたらレバーハンドルを下げる。
※ホースガイドがある場合は、ホースを元に戻してください。
- ⑫電磁弁部の水抜栓を閉じる。
- ⑬手動弁を閉じる。（左いっぱいまで回す。）
- ⑭プレートを手動弁部に取り付ける。



故障かな?と思ったら



警告



●改造や修理技術者以外による分解・修理を行わない。

※漏水や感電、発熱・発火の恐れがあります。

故障かな?と思ったら、修理を依頼される前に下記項目をご確認ください。

部位	こんなとき	対処方法	参照ページ
照明	LED照明が暗い。	修理を依頼してください。 LED照明は約4万時間の点灯で約70%の照度になります。(無償保証時間とは異なります。)	P27
鏡扉	扉がきちんと閉まらない。 段差がある。	マグネットキャッチを回転させて調節してください。	P18
	扉がガタついている。	修理を依頼してください。	P27
	くもり止めコート付の鏡がくもる。	柔らかいきれいな布に約5倍に薄めた食器用中性洗剤(透明)を含ませて絞り、鏡表面を軽く拭いてください。	P3
	くもり止めコート付の鏡にうがい薬や毛染液がついて変色した。	すぐにコットンに食器用中性洗剤(透明)を染み込ませたものを1~2時間貼り付けた後、柔らかいきれいな布に水を含ませて軽く拭くことで色を薄くすることができます。 ※一度色がついてしまうと取れません(特に毛染剤) ただし、濃さや時間によってはとれる場合があります。	P3
	くもり止めコートにキズがついた。	補修は出来ませんので、鏡の交換を依頼してください。	P27
鏡の内側に黒っぽいシミや点のようなものが出ている。	鏡の交換を依頼してください。 鏡の腐食(シケ)が原因です。	P27	
水栓金具	吐水しない。	止水栓を開いてください。	P19
		ストレーナーのゴミを取り除いてください。	★
	水の出が悪い。	止水栓を開いてください。	P19
		ストレーナーのゴミを取り除いてください。	★
水ハネが多い。	止水栓を調節してください。	P19	
水が止まらない。	止水栓を閉めて、修理を依頼してください。	P19, 27	
キャビネット	扉がガタついている。	丁番調節用ねじを増締めしてください。	P20
	扉・引出し前板がずれている。	ズレを調節してください。	P20~22

部位	こんなとき	対処方法	参照ページ
排水口	水がたまらない。	排水栓のパッキンの向きや変形がないか確認してください。	—
	洗面ボウルから水があふれる。	止水栓を調節してください。	P19
	排水の流れが悪い。	排水口、排水トラップを掃除してください。	☆
	排水栓が開閉しない。	排水口まわりのゴミや砂を取り除いてください。	P15
	オーバーフロー穴から泡が出てくる。	大量に泡を流したり泡立ちの良い洗剤を使用した時に起こる現象で異常ではありません。 少し間をおき、泡が落ち着いてから流してください。	—
排水口	水が抜けていく。	多めに水ためをし、栓に水圧をかける。 または、栓を手で軽く押し排水口に密着させることで抜けにくくすることができます。	—
排水トラップ	水が漏れている。	排水トラップの締付ナット、掃除口を締め直してください。	☆

※☆については「お手入れガイド」をご覧ください。

★については「水栓取扱説明書」をご覧ください。

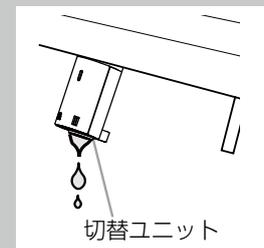
●水を止めた後に少しのあいだ水が垂れる…

切替ユニットの内部に溜まった少量の水が排出されるため、故障ではありません。

●使用していないのに、水がポタポタと数滴垂れる…

内蔵の圧力逃がし弁(※)が作動したため、故障ではありません。

※ 圧力逃がし弁とは、他所の水栓や洗濯機などの使用時に起こる急激な圧力上昇から水栓を保護するための弁で、作動すると吐水口から数滴の水が垂れることがあります。



アフターサービスについて

修理を依頼される前に

商品が故障したら「故障かな?と思ったら」(☞25,26ページ)を参照してください。
それでも故障が直らない場合は、お求めの取扱店またはLIXIL修理受付センターにご相談ください。

保証書をご覧ください

保証書(裏表紙裏面)は必ず記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
保証期間は取付日から2年間です。
保証期間中でも、以下の内容によって生じた異常などは保証の対象になりませんのでご注意ください。

- 取扱説明書に従わない使用上の誤りによる損傷
- 取付後の改造、移動、その他変更により生じたもの
- 火災、地震、その他天災地変により生じたもの
- 水栓金具や排水トラップの止水パッキン、LED照明などの消耗品
※水栓金具につきましては、水栓金具付属の取扱説明書を参照してください。

修理を依頼されるとき

■保証期間中の修理

修理に際しては必ず保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って修理させていただきます。

■保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、
お客さまのご要望によって修理いたします。
料金の内訳は、技術料+出張料+部品代です。

■連絡していただきたい内容

1. おなまえ・おところ・電話番号
2. 商品名・品番 (☞28,29ページ「品番を調べる」)
3. 取付年月日 (保証書に表示)
4. 故障内容・異常の状況(できるだけ詳しく) (☞25,26ページ「故障かな?と思ったら」)
5. 訪問ご希望日

■修理の依頼先・アフターサービスについてのお問い合わせ先

お求めの取扱店、LIXIL修理受付センターに連絡してください。
※水栓金具につきましては、水栓金具の取扱説明書に記載の修理連絡先へご連絡ください。

●お求めの取扱店(保証書に表示)

●LIXIL修理受付センター

■WEBサイトからの修理依頼はこちら

※24時間依頼可能



リクシル修理

検索

<https://www.lixil.co.jp/support/>

■お電話でも修理を承ります

受付時間/9:00~19:00

TEL ☎ 0120-179-411

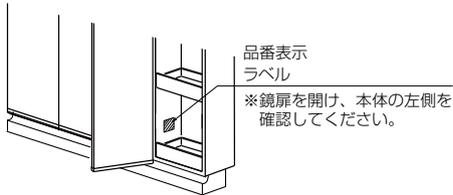
FAX ☎ 0120-179-456

品番を調べる

ミラーキャビネット

品番表示ラベルで品番を確認してください。

●3面鏡



品番表示ラベル例



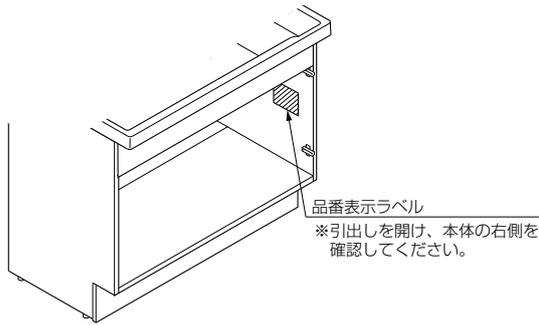
※品番表示ラベルは、お問い合わせ・部品交換の際に必要な情報のため、製品に貼り付けた状態で使用してください。

■品番の見方

①	②			③	④	⑤	⑥	⑦	⑧			
M	R	1	X	1	-	9	0	3	T	X	J	U

- | | |
|-----------------------------------|--|
| ① 部位
M : ミラーキャビネット | ⑥ 高さ
X : 全高1,900mm用 |
| ② シリーズ
R1X1: シリーズ名 R1 奥行560タイプ | ⑦ 照明
J : LED照明 |
| ③ 間口
75 : 750mm
90 : 900mm | ⑧ くもり止めコート
省略 : なし
U : くもり止めコート付 |
| ④ 鏡枚数
3 : 3枚鏡 | ⑨ 電源仕様
省略 : プラグ式電源仕様 |
| ⑤ タイプ詳細
T : 全収納 | |

ベースキャビネット



品番表示ラベルで品番を確認してください。

品番表示ラベル例

品番
R1H1-90***
製造番号
A0101-15A010001



修理のご依頼は、お求めの
販売店または
LIXIL修理受付センター
0120-179-411
<http://www.lixil.co.jp/support/>
株式会社 LIXIL

※品番表示ラベルは、お問い合わせ・部品交換の際に必要な情報のため、製品に貼り付けた状態で使用してください。

■品番の見方

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪										
R	1	H	1	-	9	0	5	J	Y	N	-	A	U	G	/	J	P	2	F	C

- | | |
|---|---|
| ① シリーズ
R1 : シリーズ名 R1 奥行560タイプ | ⑦ 高さ
U : 高さ850mm |
| ② 収納タイプ
H1 : 引出タイプ | ⑧ 省略 : ドア枠回避なし
G : ドア枠回避 (引出用) |
| ③ 間口
75 : 750mm
90 : 900mm | ⑨ 扉色
JP2 : ライトオーク
JY2 : チェリー
JR2 : ショコラオーク
YS2 : グロスホワイト
HD2 : ディーブグレー |
| ④ 水栓金具
5PY : プッシュ水栓
5JY : タッチレス水栓 | ⑩ カウンター色
F : プレーンネオホワイト (マット) |
| ⑤ 一般地・寒冷地
省略 : 一般地仕様
N : 寒冷地仕様 | ⑪ 取っ手色
C : シルバー |
| ⑥ ソフトサイレンス
A : ソフトサイレンス仕様 | |

部品の保有期間について

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後6年間です。
保有期間経過後の修理では、部品がない場合がありますので、ご了承ください。

※補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

※補修用性能部品は代替品 (仕様・形状・材質などが異なる部品) での提供となる場合があります。

仕様

ミラー

■MEAシリーズ（全高1900mm用）

間口 (mm)	750・900	
照明タイプ	LED照明	
タイプ	3面鏡、全収納	
品番	MR1X1-753TXJU MR1X1-903TXJU	
カラー (キャビネット本体)	ホワイト	
材質 (キャビネット本体・トレイ)	PP樹脂	
くもり止めコート	○ (中央鏡)	
防湿鏡	○	
照明 (定格消費電力)	LED照明(6.5W)	
コンセント※	3個	
収納トレイ	750	トレイ(小)225×6、トレイ(中)300×3、トレイ(大)525×1 深型トレイ×1、仕切りトレイセット×1
	900	トレイ(小)225×10、トレイ(中)275×4、トレイ(大)450×1 深型トレイ×1、仕切りトレイセット×1
付属品	-	

※コンセントの使用電力は合計1300Wまでです。(内部コンセントがある場合は、内部コンセント含む)

洗面化粧台

間口 (mm)	750・900	
タイプ	引出	
扉カラー	全5色	
カウンター高さH(mm)	850	
カウンター	ブレンネオホワイト (マット) 1色 人造大理石 (ポリエステル系樹脂) 洗面器一体形 (洗面器容量16L)	
タッチレス水栓ナビッシュ (流量/温度調節レバー付・ホース 収納付・吐水切替付) エコハンドル	化粧台品番※	R1H1-755JY(N)-AU R1H1-905JY(N)-AU
	水栓金具品番※	LF-NH397SY(N)-MB
ブッシュ水栓 (流量/温度調節レバー付・ホース 収納付・吐水切替付) エコハンドル	化粧台品番※	R1H1-755PY(N)-AU R1H1-905PY(N)-AU
	水栓金具品番※	LF-BA397SY(N)-MB
排水金具	ポップアップ排水栓 (新てまなし排水口・ヘアキャッチャー付・フタ着脱式)	
本体	木造構造 (パーティクルボード、MDF)	
排水トラップ	床排水・壁排水兼用ボルトトラップ (フレキホース)	
付属品	排水アダプター、排水パッキン	

●止水栓は別途手配品です。(壁給水用：アングル形止水栓 床給水用：ストレート形止水栓)

※(N)：寒冷地仕様の場合は品番にNが追加になります。

水栓金具

プッシュ水栓

〈LF-BB397SY型の場合〉

給湯器設定温度	85℃以下	使用可能水質	水道水および飲用可能な井戸水（※1）
使用環境温度	【一般地仕様】 0～40℃ 【寒冷地仕様】 -20～40℃	ただし、内部の水を凍結させないでください。	
給水給湯接続	G1/2		
圧力条件	0.09MPa（流動時）～0.75MPa（静止時）（※2） 給水圧力≧給湯圧力（※3）		

※1： 飲用可能な井戸水とは、水道法に定められた飲料水の水質基準に適合する水をいう。

※2： 水栓金具が接続された状態での水栓金具の給水・給湯接続部直前の圧力です。

※3： 給湯圧力が給水圧力よりも高い場合、正常な調節ができなくなり、ヤケドをする恐れがあります。

タッチレス水栓

〈LF-NH397SY型の場合〉

電源	AC100V 50/60Hz	消費電力	常時：1.0W以下、作動時：3.5W以下
給湯器設定温度	85℃以下	使用可能水質	水道水および飲用可能な井戸水（※1）
使用環境温度	【一般地仕様】 0～40℃ 【寒冷地仕様】 -20～40℃	ただし、内部の水を凍結させないでください。	
給水給湯接続	G1/2		
圧力条件	0.08（流動時）～0.75MPa（静止時） 給水圧力≧給湯圧力（※2）		
感知距離	約130mm（グレーカード：約130mm角）	感知エリア幅	約φ10mm以下
電源コード長さ	約0.8m		

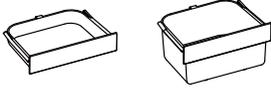
※1： 飲用可能な井戸水とは、水道法に定められた飲料水の水質基準に適合する水をいう。

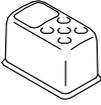
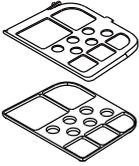
※2： 給湯圧力が給水圧力よりも高い場合、正常な調節ができなくなり、ヤケドをする恐れがあります。

オプション品・交換部品

■3面鏡の場合

※仕様は予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

品名	収納トレイ				
品番	BM-MRA-225	BM-MRA-275	BM-MRA-300	BM-MRA-TR450	BM-MRA-TR525
主な材質	PP樹脂				
サイズ(mm) (幅×奥行×高さ)	179×135×40	229×135×40	259×135×40	422×135×40	456×135×40
外観			225:225F:全間口共通 275:900間口用 300:750間口用	450:900間口用 525:750間口用	

品名	歯ブラシ立て	仕切りトレイセット
品番	BM-HB4(BW1)-K	BM-MRA-TR225S-SET
主な材質	PP樹脂	PP樹脂
サイズ(mm) (幅×奥行×高さ)	126×69×74	179×135×8
外観		

品名	ヘアキャッチャー
品番	LF-GJ-HC
主な材質	—
サイズ(mm) (幅×奥行×高さ)	68×68×80
外観	

購入方法

交換部品の名称と品番をご指定ください。

交換部品の名称・品番が不明の時は、当社お客様相談センターにおたずねください。

●取扱店などで購入される場合

当社商品の取扱店でお求めください。

LIXILストアならメンテナンス部品やオプション部品、アクセサリをお取り扱いしています。

インターネットからご注文
「リクシルストア」で検索

リクシルストア



お電話でのお問い合わせ

 0120-126-015

受付時間 9:00~17:00

(土日祝・ゴールデンウィーク、年末年始、夏期休暇を除く)

■ 廃棄について

洗面化粧台、その他キャビネットを廃棄処分する場合は、許可を受けている処理業者に処理を依頼してください。

保証書

本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。下記保証期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い求めの取扱店に修理をご依頼ください。

※ 品番・取付日・お客さま・取扱店の欄に記載のない場合は、無効になります。

品名または品番： R1シリーズ 奥行560タイプ	
保証期間	取付日
取付日より 2 ヶ年	年 月 日
お客さま	おなまえ
	おところ
	おでんわ () -
無効	
	取扱店名
	TEL () -

お客さまへ

- ・保証書は再発行しませんので、紛失されないよう大切に保管してください。
- ・お客さまにご記入いただくこの保証書の個人情報につきましては、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただきます。

無料修理規定（保証規定）

- 「取扱説明書」・「ラベル」などの注意書に従った正常な使用・維持管理状態で、保証期間内に故障した場合、無料修理いたします。
- 無料修理をお受けになる場合、お買い求めの取扱店にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
- ご転居、ご贈答品などで、本書に記載の取扱店に修理を依頼できない場合は、取扱説明書に記載のお客さま相談センターまたはLIXIL修理受付センターにご相談ください。
- 保証期間内でも、以下の場合、有料修理とさせていただきます。（免責事項）
 - 用途以外（車両、船舶及び使用頻度が極度に高い業務用など）に使用した場合の故障及び損傷などの不具合
 - 取付説明書などに基づかない取付け及び工事に起因する不具合
 - お客さまが適切な使用・維持管理を行わなかった事による故障及び損傷などの不具合
 - 専門業者以外による移動・修理・分解などに起因する不具合
 - 建築躯体の変形（強度不足・ゆがみ）など製品以外の不具合に起因する当該製品の不具合
 - 経年変化使用に伴う外観上の現象（塗装の色あせ、もらい錆など）または使用に伴う消耗部品の摩耗などにより生じる不具合
 - 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境及び公害環境（煤煙、塩害、砂塵、各種金属粉、硫化水素ガスなど各種ガス）に起因する不具合
 - 小動物（犬、猫、ねずみ、昆虫など）の行為または蔓（つる）や根などの植物の害に起因する不具合
 - 天災地変（火災、爆発など事故、落雷、地震・噴火・風水害・津波、地盤沈下、凍結、雪害など）に起因する不具合による故障及び損傷
 - 戦争・暴動など破壊行為または犯罪などの不法行為に起因する破損や不具合
 - 自然現象や住環境に起因する結露・染み出し・かびなどの現象
 - 消耗品（パッキン）類、配管中の異物のつまりなどによる故障および損傷
 - 水道水以外を給水したことによって生じた故障及び損傷
（※水道水とは、水道事業者が供給する上水をいう。）
 - 寒冷地仕様でない製品の場合の凍結による故障及び損傷
 - 給水・給湯配管の錆、砂やごみなどの異物の配管内流入及び水あか固着に起因する不具合
 - ガス・電気・給水などの供給で指定された以外の環境（異常ガス圧、異常電源・電圧・周波数、異常電磁波、異常水圧・水質、音、振動など）に起因する故障及び損傷などの不具合
 - 保証書の期限切れまたは提示がない場合
 - 本書にお取付日・お客さまのお名前・取扱店名の記入のない場合、あるいは字句の書き替えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理を行うことをお約束するものです。従って、本書によって、お客さまの法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理など、ご不明な場合、お買い求めの取扱店または取扱説明書に記載のお客さま相談センターにお問い合わせください。
- 修理に必要な補修用性能部品の保有期間は、製造打切後 6年間です。

使い方・お手入れ方法など、商品についてのお問い合わせは

お客さま相談センター

TEL ☎ 0120-179-400

FAX ☎ 0120-179-430

受付時間 平日 9:00~18:00

土日・祝日 9:00~17:00(ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く)

※フリーダイヤルは、携帯電話・PHS・IP電話などではご利用になれない場合がございます。
下記番号をご利用ください。

TEL 0562-40-4050 FAX 0562-40-4053

修理のご依頼は (本文の「アフターサービスについて」をお読みください)

LIXIL修理受付センターへ

■WEBサイトからの修理依頼はこちら

※24時間依頼可能



リクシル修理

検索

<https://www.lixil.co.jp/support/>

■お電話でも修理を承ります

受付時間/9:00~19:00

TEL ☎ 0120-179-411

FAX ☎ 0120-179-456

- 当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さまなどの個人情報を商品購入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンスなど当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

インターネット・ホームページ・アドレス

<https://www.lixil.co.jp/>

こんな症状が見られたら、お求めの取扱店またはLIXIL修理受付センターに修理をご依頼ください。

